

# パ・リーグ初戦を飾る

— '82 プロ野球オールスターゲーム —

7月24日、小雨ふる後楽園で行われた1982年度オールスター第1戦、若い巨人の松本が走れば負けじとばかり阪急のベテラン福本も自信の足を見せつけます。パリーグは一回ロッチの落合のタイムリーで先制点を奪ったあと、日本ハムの柏原が2ランホームラン、江川をあっさりKO。セ・リーグも反撃します。2塁3塁にランナーを置いてバッターは中日のモッカ。モッカは期待に応えレフト前にタイムリーヒット。しかし、パ・リーグはその後も福本の足を生かした攻撃で着々と加点。守っては若い近鉄の村田、南海の山内孝がセ・リーグ打線を散発2安打に押え快勝、最優秀選手には福本選手が選ばれました。

# 日本列島五億年展

— 愛知・伊良湖 —

愛知県渥美半島にある伊良湖自然科学博物館ではいま、「日本列島五億年のあゆみ展」が開かれています。会場には古代生物の化石や岩石などが数多く展示されており、日本列島の誕生から形成までの変遷がわかりやすく紹介されています。また17億年も前の岩石も展示され、自然科学研究者だけでなく、子供たちにとっても興味深いものとなっています。この展示会は、8月31日まで開れることになっています。

# 長崎に豪雨禍

長崎県を中心とした九州西北部は7月23日から降り出した記録的な集中豪雨に見舞われ、各地でがけ崩れや河川のはんらんが続発した。最も被害の大きかった長崎市内は、中島川がはんらん。あっという間に多数の人命と家財が奪われた、400年の歴史を持ち国の重要文化財であり、長崎のシンボルであった眼鏡橋も大半が流され、残ったものも痛ましく傷ついた。交通機関も全面ストップ水の恐怖に追いつけるように、水道、ガス、電気も止まり、市民生活は完全にマヒした。23人が生き埋めとなった市内鳴滝町の山津波現場ではガレキの下から次々に遺体が運び出されたが、まだ2/3以上が見つけ出せないまま豪雨被害の大きさに事態を重視した政府は、25日、松野国土庁長官を団長とする調査団を現地に派遣、惨状を視察して廻ったわずか3時間に300ミリを越える観測史上まれに見る豪雨。典型的な湿舌現象が原因といわれる。だが、山の上へ上へと延びる長崎の町。無計画な宅地造成が災害を大きくしたとは考えられないか。事故から5日たった7月28日相在、死者・行方不明は359人、去る昭和32年の諫早大水害に次ぐ無残な豪雨禍となった。